

## 青木繁「海の幸」記念館 友の会だより 第17号 2020(令和2)年7月20日

発行：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

会長：嶋田博信 副会長：小谷昭・島田吉廣 館長：小谷福哲（小谷家当主）

事務局長：愛沢伸雄（事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム）

〒294-0234 千葉県館山市布良 1256 青木繁「海の幸」記念館 ホームページ <http://aoki-shigeru.awa.jp/>  
事務局〒294-0036 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX:0470-22-8271 Eメール awabunka.npo@gmail.com

開館日：土日（平日は事前の団体予約のみ）※維持協力金(入館料)：一般 200 円・小中高 100 円・友の会無料

\*\*\* 友の会会員募集中！ 年会費 2,000 円 郵便振替口座 00150-6-616201 青木繁「海の幸」記念館 \*\*\*

### 青木繁「海の幸」記念館の休館について（館長挨拶）

小谷家当主こたに ふくあきの小谷福哲です。友の会の皆様には、令和元年房総半島台風ではご心配をいただき、ありがとうございました。また、世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延となり、社会環境が一変しましたが、皆様は元気にお過ごしでしょうか。

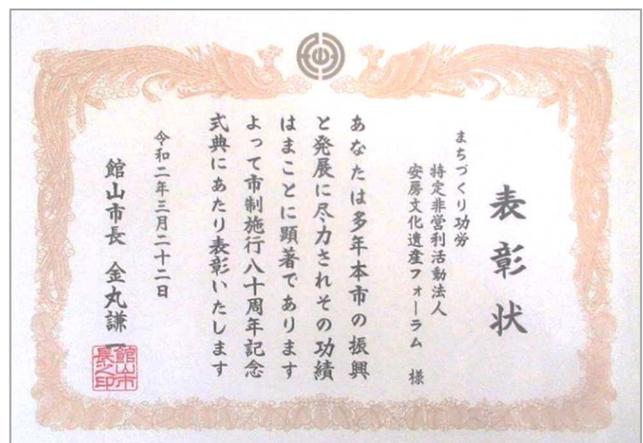
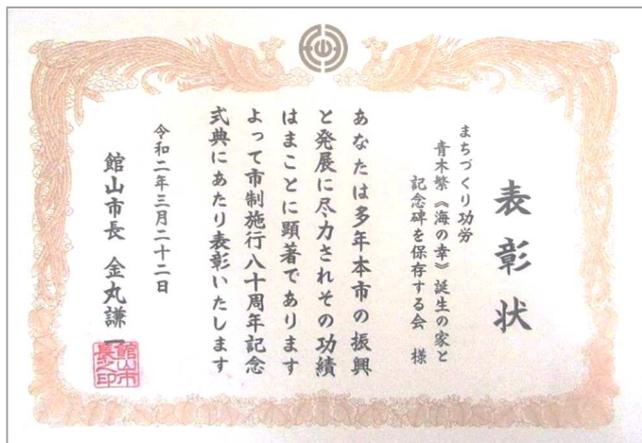
緊急事態宣言の解除に伴い、多くの公共施設や観光拠点は条件付で再開されましたが、今なお東京や都市、世界中の感染状況は芳しくありません。できることなら当館も早く開館したいと願っていましたが、安全のために今しばらく休館を続けたいと考えています。当館は個人住宅であり、皆高齢になっておりますので、何卒ご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。開館は、収束の状況をみながら判断し、ホームページ・Facebook・Twitter等を通じてお知らせいたします。

なお、記念館の運営支援チャリティとして昨秋に予定されていた「青木繁オマージュ色紙展」も、開館できましたら10～11月頃に開催したいと考えております。今後とも末永くご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### \*館山市制 80 周年記念 まちづくり功労 W表彰

「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」事務局の「NPO法人安房文化遺産フォーラム」



### \*布良崎神社より

#### 御礼とご報告

皆様の温かいご支援により、昨年の台風で潰滅した神輿蔵が再建されました。『海の幸』のイメージソースといわれる神輿は、まだ修復募金の継続中です。引き続きお力添えのほどお願いいたします。



### 青木繁「海の幸」 記念碑

設計者：生田勉  
(東京大学教授)

世界遺産の建築家  
ル・コルビュジェの現  
代建築を日本に紹介  
した建築学者。

館山ユースホテル  
(YH)を設計の際、隣  
接地の記念碑も依頼  
され、親友の立原道造  
の「石柱の歌」という詩  
にインスピレーションを  
得て設計したという。

田村利男館山市長と  
坂本繁二郎・辻永・河  
北倫明はじめ著名な  
美術家が基金を募り、  
1962年に建立。

1998年YH廃業に伴  
い、国有地の記念碑  
に解体命令が出され  
たが、保存を望む地元  
住民の要望に応え、  
館山市が賃料を払い  
国有地を借用し現在  
に至る。

# 地元保存会が補修作業

## 館山布良の青木繁記念碑

老朽化が進んでいる「館山市布良の青木繁記念碑」の補修作業が、地元住民らでつくる「青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会(嶋田博信会長)のメンバーの手によって行われている。



補修作業をするメンバーら＝館山＝

約4層の鉄筋コンクリートづくりのアーチ状の記念碑。建立後、60年近くがたち、潮風にさらされて劣化が進み、コンクリートにひびが入り、一部は剥がれ、危険でもあったため、補修することになった。作業は4日から始まり、連日メンバー5、6人が作業。劣化していたコンクリートをハンマーなどで剥がした後、木枠を当ててモルタルを流し込んで補修していた。

高さ約3・6メートル、幅約4層の鉄筋コンクリートづくりのアーチ状の記念碑。建立後、60年近くがたち、潮風にさらされて劣化が進み、コンクリートにひびが入り、一部は剥がれ、危険でもあったため、補修することになった。作業は4日から始まり、連日メンバー5、6人が作業。劣化していたコンクリートをハンマーなどで剥がした後、木枠を当ててモルタルを流し込んで補修していた。

された。

「海の幸」を描き上げたゆかりの地で、記念碑は青木の没後50年を記念して、当時の館山市長や著名な美術関係者らが発起人となり、布良海岸が一望できる高台に昭和37年に建立された。

嶋田会長は「記念碑は青木繁ゆかりの地であることを示すシンボルであり、布良の宝観光名所でもあり、青木の功績を功績と伝えたい」と話していた。

### <戦後 75 年平和祈念>

**\*館山まるごと博物館展** 入場無料  
8月8日～30日 渚の駅たてやまギャラリー

赤山地下壕跡(館山市指定史跡)をはじめ館山の戦争遺跡は、平和学習の拠点として多くの方が来訪します。信州上田の戦没画学生慰霊美術館「無言館」でも、館山海軍砲術学校在籍者の作品があります。「鬼の館砲」と呼ばれた厳しい訓練の日々の中で、休日になると画学生は隣村の布良へ行き、美しい景観に癒やされ、青木繁に思いを馳せ絵筆を執っていたかもしれません。

終戦直後、館山は本土唯一「4日間」の直接軍政を敷かれました。古くから海路を通じて海洋世界と交流し「平和の文化」を培ってきた精神で、平和裡の戦後日本の創出に貢献しました。

また風光明媚な景観は多くの画家に愛されました。青木繁の複製画とともに、平和を願う館山ゆかりの寺崎武男や秋山巖らの原画作品も展示します。

### \*第16回安房・平和のための美術展

8月22日～30日 枇杷倶楽部ギャラリー  
安房ゆかりの美術家たちが、平和のために何ができるかと考え、戦後60年(2005年)に始めたチャリティ展覧会。今年は61名の参加です。

### \*溝口七生・遺作展

7月～9月16日 渚の駅たてやまギャラリー  
当会会員として尽力された溝口先生の作品が館山市に寄贈されました。渡米した房総アワビ漁師ゆかりの作品や日米国旗の万祝が展示されています。



### 秋山 巖 (版画家)

海軍落下傘部隊に所属し、館山海軍航空隊で降下訓練。戦後は太平洋美術学校で坂本繁二郎に師事。棟方志功の門下生となり、柳宗悦や河井寛次郎らの薫陶も得る。山頭火とフクロウの画風で知られる。

### 【訃報】菅田 仁 氏

青木繁「海の幸」記念館の修復において大変貢献された大工棟梁。ご冥福をお祈りいたします。

